

2025年度 学生海外派遣プログラム（大学院生・学部生）募集要項

趣旨

本プログラムの目的は、大学院生・学部生の海外派遣を通じて、学術分野の融合による複合学際的な研究領域の開拓を担う若手人材（Global Engineering Scientists）の育成を図ることである。また、複合学際性と国際性に富む人材の育成を組織的かつ継続的に実施するために必要となる国際ネットワークの形成も目的としている。

基礎工学研究科では、2009年度より日本学術振興会（JSPS）により採択された「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」の支援のもと、3年間にわたり「複合学際領域を担う若手人材育成のための国際ネットワーク形成と称した、基礎工学に関わる国際ネットワークの形成を目標に、多くの大学院生を海外の主要大学等に派遣してきた。2013年度からは、文部科学省国立大学改革強化推進補助金の支援を得て、グローバル人材育成事業「Engineering Science 国際コンソーシアム」を創設し、展開してきた。若手研究者支援については、2023年に基礎工学研究科 未来ラボシステムにおける若手海外派遣プログラムとして独立・発展した。大学院生・学部生向け支援については、2018年からは大阪大学未来基金（基礎工学部・基礎工学研究科教育研究事業）、2024年度には日本学生支援機構（JASSO）奨学金、および、目的特化型大阪大学未来基金（基礎工）、2025年度にはOU マスタープラン実現加速事業（Σ Global Lab システム）の支援を得て、基礎工学国際ネットワーク形成のため、将来を担う若手研究者である大学院生・学部生を海外に派遣し、本学と海外の研究者間における共同研究を促し、「複合学際性」と「国際性」を備えた人材の育成を目指している。

応募資格

留学に必要な実践的英語コミュニケーション能力をもち、留学によって国際性豊かな研究者としての将来の発展が期待できる 大学院生（基礎工学研究科） 及び 学部生（基礎工学部）。

—— 派遣プログラムの概要 ——

プログラム名	対象		派遣期間	支援金額	帰国後、履修・単位習得が必要な授業
	学部	大学院			
① 学生海外派遣プログラム 短期留学生 (大学院生)		○ (原則、DC進学予定者)	1～3か月 (原則)	上限 30万円	基礎工学海外研修1
② 短期留学・海外研修生 (大学院生・学部生)	○	○	1か月以上	上限 15万円	[大学院生] 基礎工学海外研修1又は2
③ 基礎工学国際コンソーシアム 学生交流短期留学 ※R7年度募集終了	○ (要相談)	○	40日以上	授業料 ※①又は②と併給可能	[学部生] グローバル人材育成研修2 (国際交流科目)

募集要領

①学生海外派遣プログラム短期留学生(大学院生)

対象者： ・博士後期課程学生
・博士後期課程進学を希望する博士前期課程学生（指導教授の推薦書にその旨記載のこと）
留学期間： 2025年8月1日以降に留学を開始し、2026年3月中旬までに終了すること。
1～3ヶ月以内を標準とするが、特別な場合(ダブル・ディグリー、単位取得型留学、長期研究留学など)には、3ヶ月以上の留学も認める。
留学経費： 総額30万円を上限として、渡航費もしくは滞在費の一部を支給。
履修が必要な科目：「基礎工学海外研修1」(2単位)

②短期留学・海外研修生(大学院生・学部生)

対象者： 大学院生及び学部生
留学期間： 原則として、2025年8月1日以降に留学を開始し、2026年3月中旬までに終了すること。
1ヶ月以上を標準とする。
留学経費： 総額15万円を上限として、渡航費もしくは滞在費の一部を支給。
履修が必要な科目：【大学院生】「基礎工学海外研修1」(2単位)又は「基礎工学海外研修2」(1単位)
【学部生】「グローバル人材育成研修2(国際交流科目)」(2単位)

③基礎工学国際コンソーシアム学生交流短期留学 ※2025年度募集終了

対象者： 大学院生(学部生は要相談)
留学期間： 2025年8月以降11月までの間で40日以上。
留学経費： 授業料不要。渡航費、生活費、宿泊費は自己負担。なお、上記①又は②と併給可能。
履修が必要な科目：「基礎工学海外研修1」(2単位)又は「基礎工学海外研修2」(1単位)
備考： 派遣先は「基礎工学国際コンソーシアム」加盟校となります。

<https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/international-exchange/international-consortium/>

審査方法

採択者及び支援額は、応募書類をもとに国際化企画推進室にて審査のうえ、決定する。

——— 追加支援(オプション型支援)について ———

いずれのプログラムも以下の追加支援(オプション型支援)を受けることが可能です。
追加支援の有無は留学種別等を考慮のうえ、国際化企画推進室にて審査のうえ決定します。

- ・日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)奨学金【月額8～12万円】
- ・ΣGloBaL長期滞在型留学支援(DDP、研究留学ほか)【月額8～12万円】
- ・ΣGloBaL単位取得型短期留学支援【上限30万円】
- ・基礎工学部・基礎工学研究科学生Challenge支援

※プログラムにより支援枠や上限額等が異なります。

※支援条件：

- －TOEFL iBT 80(又はPBT 550)以上、又はTOEIC 730以上。もしくはそれに相当する英語能力。
- －前年度の学業成績(GPA)が2.3以上。

応募方法

- 応募書類：・2025年度学生海外派遣プログラム申請書（別紙様式）
・指導教員（教授）の推薦書【①②に申請する学部4年生及び大学院生のみ】
・留学先の受入承諾を示す交信記録【①②に申請する者のみ】
 ※留学先の宿舍などの受入機関からの支援内容などの受入条件の交信を含む
・成績証明書及び語学能力を確認できる資料の写し
 【本要項2ページの追加支援（オプション型支援）を希望する者のみ】

提出方法：指導教員（教授）から下記連絡先あて、応募書類をメールにて提出
 ※研究室配属されていない学部生は、応募に先立ち下記連絡先に事前に相談ください。
 ※提出の際、メールタイトルは以下のとおりとしてください。

- ①「2025年度学生海外派遣プログラム短期留学生(大学院生)応募」
- ②「2025年度短期留学・海外研修生(大学院生・学部生)応募」
- ③「2025年度基礎工学国際コンソーシアム学生交流短期留学応募」※募集終了

応募期限： 2025年6月27日（金）

応募上の留意点

1. 留学先で行う研究内容を具体的に相談の上で、先方がどのような便宜（実験施設、大学内施設の利用など）を図ってくれるかを事前に確認すること。
2. 渡航費、滞在費を得るための申請を行うことを先方に明確に伝えること。ただし、宿舍については、ドミトリーなどの提供あるいは紹介を希望する旨を明記し、できれば宿舍を含めた先方の経済的な支援ができるだけ得られるように打診すること。
3. 留学先での立場（身分）についても確認すること。
4. 留学前には必ず正式な留学手続きを担当部署に行うこと。教授会での承認を必要とする。
5. 指導教員と相談のうえ、必ず、適切な海外旅行傷害保険と学生教育研究災害保険に加入すること（本人実費、その写しを出国前に担当部署へ提出すること）。
6. 留学先変更等、留学計画の重大な変更が申請後に生じないよう、十分に吟味した内容で申請すること。申請後の計画変更は原則として認めない。
7. 留学期間、留学先によりビザが必要と判断される場合、ビザの申請から取得までに2ヵ月以上を要することを踏まえて留学時期を設定すること。
8. 留学中、毎月月末までに担当部署にメールで近況を報告する他、帰国後は、報告書を作成し（書式指定）1ヶ月以内に担当部署まで提出のこと。
9. 年度毎に行う報告会で、英語による発表を行うこと。
10. 世界情勢の変化等でやむを得ず留学が中止になった場合は、下記連絡先まで連絡すること。
11. 英語資格を満たさない場合には、参加できないプログラムもあるため、日々の生活の中で、英語能力を研ぎ、前もって、各種英語能力試験を受験することを勧める。

以上

プログラム代表者 馬越 大

[提出先・連絡先] 基礎工学研究科 国際化企画推進室（鈴木）
Σ Global Office（小澤、内田）

Email: sigma-go@office.osaka-u.ac.jp